

総合講義 I

コーディネーター：口腔保健育成学講座・歯科矯正学分野 佐藤和朗教授
 ：解剖学講座・機能形態学分野 藤村朗教授
 担当講座（分野）：歯学部専門教育担当教員

第5学年 前期・後期

	講義	演習
前期	66時間（66コマ）	12時間（12コマ）
後期	45時間（45コマ）	24時間（24コマ）

教育成果（アウトカム）

臨床実習において診療参加型実習を実践している中で、歯科医学臨床に直結する内容で今までに学んだ専門分野の知識を振り返り、知識と技能の融合を行う。（ディプロマ・ポリシー：5、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程（1限：8:40～9:40、2限：9:50～10:50、3限：11:00～12:00、4限：13:00～14:00、
 5限：14:10～15:10、6限：15:20～16:20、7限：16:30～17:30）

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月17日(火) 1限(8:40～ 9:40)	分子微生物学分野 下山 佑講師	微生物学・細菌学総論 病原微生物の生物分類学 上の位置づけおよびその 性状を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主- 寄生体相互作用について説明できる。 [A-6-3)-②, ③, C-4-1)-①～⑤, E-1-5)-⑥～⑧]
4月17日(火) 2限(9:50～ 10:50)	分子微生物学分野 下山 佑講師	免疫学 1 免疫応答による生体防御 の仕組みを理解する。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 [C-4-2)-①～⑧, E-2-4)-(10)-③]
4月17日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 1 解剖学	1. 解剖学における必修事項を再度確認し、理解する。
4月17日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 2 組織学	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理解する。
4月17日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 3 生理学	1. 生理学における必修事項を再度確認し、理解する。
4月24日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 4 生化学	1. 生化学における必修事項を再度確認し、理解する。
4月24日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 5 病理学	1. 病理学における必修事項を再度確認し、理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月24日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義6 微生物学	1. 微生物学における必修事項を再度確認し、理解する。
4月24日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義7 歯科理工学	1. 歯科理工学における必修事項を再度確認し、理解する。
4月24日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義8 歯科薬理学	1. 歯科薬理学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月1日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義9 衛生・予防歯科学1	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月1日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義10 歯周療法学	1. 歯周療法学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月1日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義11 歯内療法学	1. 歯内療法学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月1日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義12 保存修復学	1. 保存修復学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月1日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義13 有床義歯学	1. 有床義歯学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月8日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義14 冠橋義歯学	1. 冠橋義歯学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月8日(火) 6限(15:20 ～16:20)	機能形態学分野 藤村 朗教授	顎関節の解剖 顎関節の形態と進化を咀嚼様式から理解する。 ヒトの顎関節の形態を理解する。	1. ヒトの顎関節の特徴を説明できる。 2. 蝶番運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 3. 臼磨運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 4. 前後運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 [E-2-1)-⑥]
5月15日(火) 1限(8:40～ 9:40)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	炎症の生化学 炎症を調節する細胞や分子の作用を理解する。	1. 炎症関連細胞を列挙し、それらの働きについて説明できる 2. 代表的なケミカルメディエーターを列挙し、その作用を説明できる。 3. アラキドン酸カスケードを説明できる。 [C-2-1)-①, ③, C-5-5)-①, ②]
5月15日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義15 口腔インプラント学	1. 口腔インプラント学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月15日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義16 歯科放射線学	1. 歯科放射線学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月15日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義17 歯科麻酔学	1. 歯科麻酔学における必修事項を再度確認し、理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月15日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 18 歯科矯正学	1. 歯科矯正学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月22日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	疼痛 痛覚の受容と伝導路を理解する。	1. 痛覚の特徴を説明できる。 2. 痛覚の受容器を説明できる。 3. 痛覚伝導路を説明できる。 4. 象牙質および歯髄感覚の特徴を説明できる。 [C-3-4)-(6)-②, ③, E-2-2)-⑨]
5月22日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 19 小児歯科学	1. 小児歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月22日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 20 口腔外科学 1	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。
5月29日(火) 1限(8:40～ 9:40)	医療工学講座 武本真治教授	印象用材料 歯科臨床で使用する印象用材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における印象材の選択基準を説明できる。 2. 印象材の種類とタイプを説明できる。 3. 歯科臨床における印象材の用途を説明できる。 4. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質説明できる。 [D-1-②, ③, D-2-②]
5月29日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義 1) 「超高齢社会を見据えた 未来予想図(前)」飯島 勝矢 48分	1. 地域における多職種で高齢者を支援する 「地域包括ケア」の概念を理解する。 [B-2-2-①, ②, ③, ④, ⑧]
5月29日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義 2) 「超高齢社会を見据えた 未来予想図(後)」飯島 勝矢 49分	1. 地域における多職種で高齢者を支援する 「地域包括ケア」の概念を理解する。 [B-2-2-①, ②, ③, ④, ⑧]
6月5日(火) 1限(8:40～ 9:40)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教 (歯内療法学) (保存修復学)	修復、歯内の診査、診断 から修復法まで 硬組織疾患、歯内疾患の 診査法、診断、修復法に ついて理解する。	1. う蝕の診査法を説明できるようになる。 2. う蝕の診断ができるようになる。 3. 歯内療法に必要な診査法を説明できるようになる。 4. 歯内疾患の診断ができるようになる。 5. 症例に応じた修復法を説明できるようになる。
6月5日(火) 2限(9:50～ 10:50)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教 (歯内療法学) (保存修復学)	修復、歯内の診査、診断 から修復法まで 硬組織疾患、歯内疾患の 診査法、診断、修復法に ついて理解する。	1. う蝕の診査法を説明できるようになる。 2. う蝕の診断ができるようになる。 3. 歯内療法に必要な診査法を説明できるようになる。 4. 歯内疾患の診断ができるようになる。 5. 症例に応じた修復法を説明できるようになる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月5日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯周療法学分野 八重柏隆教授	歯周療法の要点1 歯周領域に求められる演習問題を理解し、歯周外科を中心に要点を理解する。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題の理解ができる。 3. 歯周領域の要点を修得できる。 [E-3-2)-(3)-③、E-3-2)-(4)、E-3-3)-(3)-①、E-3-3)-(3)-②、E-3-3)-(3)-③、E-3-3)-(3)-④、E-3-3)-(3)-⑤]
6月5日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義3) 「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」会田薫子 48分	1. 高齢者と慢性疾患患者の増大に伴い終末期ケアにおけるエンドオブライフ・ケアの概念を理解する。 [E-5-1-①～⑪]
6月5日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義4) 「在宅医療に関わる保険制度」浜田 淳 38分	1. 在宅医療に関わる保険制度を理解する。 [B-2-2-①, ②, ③, ④, ⑧]
6月12日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科放射線学分野 泉澤 充講師	CT・MRI 画像 CT・MRI による画像診断能力を向上させるため、放射線解剖学的知識を習得する。	1. CT・MRI 画像上で、診断に必要な解剖名を指摘できる。 2. CT・MRI 画像上で、以下の組織隙を指摘できる。 傍咽頭隙、翼突下顎隙、咀嚼筋隙、顎下隙、舌下隙、オトガイ下隙
6月12日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義5) 「在宅患者の全身評価」 谷垣 静子 39分	1. 在宅患者の全身評価について理解する。 [E-5-1-①～⑤]
6月12日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義6) 「要介護高齢者における口腔管理の重要性」角保徳 60分	1. 要介護高齢者における口腔管理の重要性について理解する。 [E-5-1-③～⑩]
6月19日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 田村晴希講師	抗菌薬 歯科診療を行う上で必要な抗菌薬を理解する。	1. 抗菌薬の分類、作用機序と副作用を説明できる。 2. 腎疾患の患者に適切な抗菌薬を説明できる。 [C-6-2)-(2), C-6-4)-(1)]
6月19日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科麻酔学分野 遠藤千恵講師	局所麻酔法 局所麻酔法と局所麻酔時の偶発症を理解する。	1. 局所麻酔の目的を説明できる。 2. 局所麻酔法の種類、特徴を説明できる。 3. 局所麻酔および歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
6月19日(火) 3限(11:00～ 12:00)	口腔外科学分野 宮本郁也准教授	歯性感染症 炎症の概念を理解し、歯性感染症に関する知識を習得する。	1. 歯性感染症の概念を説明する。 2. 歯性感染症の感染経路を説明する。 3. 歯性感染症の診断・治療法を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月19日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義7) 「在宅義歯のための総義 歯治療マニュアル」皆木 省吾 43分	1. 在宅患者に対する総義歯治療の概要を理解する。 [E-5-1-⑥～⑨]
6月19日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義8) 「在宅患者の摂食嚥下機 能評価」村田 尚道 51 分	1. 在宅患者の摂食嚥下機能評価の概要を理解する。 [E-5-1-⑧～⑪]
6月26日(火) 1限(8:40～ 9:40)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	唾液の生化学 唾液の成分とその作用に ついて理解する。	1. 唾液の成分を列挙し、その作用を説明できる。 2. 唾液中の酵素の働きを説明できる。 3. 唾液中の抗菌因子の作用機序を説明できる。 [C-2-4)-①, ③, C-3-4)-(2)-④, ⑤]
6月26日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義9) 「嚥下障害患者のリスク 管理」谷口 恵子 51分	1. 嚥下障害患者のリスクを知り、その対応を理解する。 [E-5-1-③～⑪]
6月26日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義10) 「在宅患者の栄養指導・ 栄養評価」坂本 八千代 39分	1. 在宅患者の栄養指導や栄養評価について理解する。 [E-5-1-⑩]
7月3日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 田村晴希講師	局所麻酔薬・全身管理 歯科診療を行う上で必要 な局所麻酔薬と偶発症の 際に用いる主な薬物を理 解する。	1. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 2. 偶発症の際に用いる主な薬物とその薬理作用を説明できる。 [E-1-4)-(3)-②, E-1-6)-③]
7月3日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	矯正治療におけるフォー スシステム 矯正治療に必要な力学を 理解する。	1. 固定について説明できる。 2. 矯正力について説明できる。 3. 矯正力により起こる生体反応を説明できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。 [E-4-1)-③, ⑥]
7月3日(火) 3限(11:00～ 12:00)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 森川和政教授 (小児歯科学)	小児の歯髄処置 乳歯および幼若永久歯に 適切な歯内療法を行うた めの基本的事項を理解す る。	1. 症状やエックス線画像から、診断を行い、それにふさわしい処置法を選択できる。 [E-4-2)-④, ⑤]
7月3日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義11) 「在宅での歯科衛生指 導」寺尾 忍 43分	1. 在宅患者への口腔衛生指導について理解する。 [E-5-1-④～⑦]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月3日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育 (在宅介護医療 ビデオ講義12) 「服薬の影響と服薬指 導」名倉 弘哲 48分	1. 高齢者に対する服薬の影響と服薬指導に ついて理解する。 [E-5-1-①, ②]
7月10日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	発生生物・再生医 学分野 原田英光教授 大津圭史准教授	歯と顎骨の発生成長・加 齢変化<口腔疾患と全身 1> 歯と顎骨の正常発生と加 齢にともなう変化、異常 について説明できるよう になる。	1. 歯の発生・加齢変化について説明できる。 2. 顎骨の発生について説明できる。 3. 大理石病、鎖骨頭蓋異形成症などの全身的 な症状とともに、顎顔面に異常が見られる 疾患やその原因について組織学的知識と 連携させて説明できる。 [C-3-2)-①, C-3-3)-②, C-3-4)-(2)-④, C-3-4)-(2)-⑤, E-2-3)-①, E-2-3)-④, E-2-4)-(1)-①, E-2-4)-(10)-⑤]
7月10日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 (障害者歯科学) 久慈昭慶教授	障害者に対する歯科臨床 に必要な知識を確実に身 につける。	1. 行動調節や精神遅滞, 自閉症, てんかん, 脳性麻痺, 主な症候群について説明でき る。
7月17日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	循環 心機能および循環調節機 構を理解する。	1. 心筋の生理的特性を説明できる。 2. 心機能を調節する要因を説明できる。 3. 血圧調節機構を説明できる。 [C-3-4)-(4)-①, ②, ③, C-3-4)-(5)-③]
7月17日(火) 2限 (9:50～ 10:50)	医療工学講座 武本真治教授	歯冠修復用材料 歯科臨床に応用する歯冠 修復材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における歯冠修復材の選択基準 を説明できる。 2. 歯冠修復材の種類を説明できる。 3. 歯冠修復材の成分および性質を説明でき る。 4. 歯冠修復材の取り扱い上の注意点を説明 できる。 [D-1-②, D-2-①, ②]
7月17日(火) 3限 (11:00～ 12:00)	発生生物・再生医 学分野 原田英光教授 大津圭史准教授	歯の発生からみた歯の構 造の正常と異常 歯の構造についてそれぞ れの成因から説明できる ようになる。歯の先天的 疾患について説明できる ようになる。	1. 歯を構成する組織と形成細胞の分化・基質 形成過程について説明できる。 2. 歯の生理的加齢変化、咬耗・磨耗による組 織変化について説明できる。 3. 歯の数や歯冠の形態, エナメル質形成不全 症などの先天性遺伝子疾患に関わる病院 について説明できる。 [E-2-3)-①, E-2-4)-(1)-①, E-2-4)-(10)- ⑤, E-3-1)-①]
7月17日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	予防歯科学分野 佐藤俊郎助教	疫学総論 疫学的手法を理解する。	1. 疫学研究方法を列挙できる。 2. 疫学指標を列挙できる。 3. 与えられたデータから疫学指標を算出でき る。
7月17日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育 (在宅介護医療 ビデオ講義13) 「在宅介護現場における 食支援について」菊谷 武 71分	1. 在宅介護現場における食事の支援につい て理解する。 [E-5-1-①, ⑩]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月24日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学講座 (冠橋義歯補綴学) 田邊憲昌講師	咬合器の使用法 症例に応じた咬合器の選択と使用法を理解する。	1. アルコン型咬合器とコンダイラー型咬合器の顎路調整方法を説明できる。 2. 症例に応じた咬合器の選択基準の概略を理解する。
7月24日(火) 2限(9:50～ 10:50)	補綴・インプラント学講座 (有床義歯補綴) 担当教員	全部床義歯補綴学 全部床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する。	1. 全部床義歯の各操作の目的を説明できる。 2. 全部床義歯の製作術式を説明できる。
7月24日(火) 3限(11:00 ～12:00)	病態解析学分野 入江太朗教授	病理検査法の注意点と歯と歯周組織の疾患 病理検査を行う際に大切な事項と歯と歯周組織に生じる疾患について理解する。	1. 病理検査法の流れを説明できる。 2. 病理検査を行う上で注意すべきことを説明できる。 3. 齶蝕・歯髄疾患・歯周疾患について説明できる。 [E-3-2)-①～③]
7月24日(火) 6限(15:20～ 16:20)	補綴・インプラント学講座 (口腔インプラント学) 近藤尚知教授	口腔インプラント学1 口腔インプラント治療に必要な知識を整理して手術方法を理解する。	1. インプラントの基本構造を説明できる。 2. インプラントの外科処置に必要な器具を説明できる。 3. インプラントの外科処置の各操作の目的と手技を説明できる。
7月24日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義14) 「多職種における経口摂取支援」森光 大 72分	1. 多職種連携で行う経口摂取の支援について理解する。 [E-5-1-⑧～⑩]
8月21日(火) 1限(8:40～ 9:40)	口腔外科学分野 宮本郁也准教授	嚢胞 口腔領域に発生する嚢胞の分類、臨床症状、画像診断、病理組織診断、治療法を習得する。	1. 口腔領域に発生する嚢胞を分類、その臨床症状を説明する。 2. 嚢胞の画像所見と病理所見を説明する。 3. 嚢胞に対する適切な治療を説明する。
8月21日(火) 2限(9:50～ 10:50)	関連医学分野 千葉俊美教授	内科学I 循環器疾患・悪性新生物・呼吸器疾患 代表的な循環器疾患・悪性新生物・呼吸器疾患について理解する。	1. 代表的な循環器疾患・悪性新生物・呼吸器疾患について理解し説明できる。
8月21日(火) 3限(11:00 ～12:00)	補綴・インプラント学講座 (顎顔面補綴学) 担当教員	顎顔面補綴学 顎顔面補綴治療に必要な知識を整理して補綴処置の方法を理解する。	1. 顎顔面補綴治療に必要な器具を説明できる。 2. 顎顔面補綴処置の各操作の目的と手技を説明できる。
8月21日(火) 6限(15:20～ 16:20)	口腔外科学分野 山田浩之教授	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の種類を把握し臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯原性腫瘍を列挙し分類する。 2. 歯原性良性腫瘍の診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明する。 3. 歯原性良性腫瘍の一般的な治療法を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月21日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育 (在宅介護医療 ビデオ講義15) 「認知症における口腔管 理」枝広 あや子 87分	1. 認知症患者の口腔管理について理解する。 [E-5-2-①～④]
9月4日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	病態制御学分野 山田ありさ助教	抗炎症薬 歯科診療を行う上で必要 な抗炎症薬を理解する。	1. 抗炎症薬の作用機序を説明できる。 2. 抗炎症薬の副作用を説明できる。 [C-6-2)-②, C-6-4)-①]
9月4日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育 (在宅介護医療 ビデオ講義16) 「嚥下困難者に対する服 薬支援 -簡易懸濁法な ど-」倉田 なおみ 48分	1. 嚥下困難者に対する服薬支援の概要を理 解する。 [E-5-1-①, ②, ⑧]
9月4日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育 (在宅介護医療 ビデオ講義17) 「地域における多職種連 携～経口維持加算では何 をするのか～」高橋 賢 晃 67分	1. 多職種で行う高齢者への食支援における 傾向維持加算の内容を理解する。 [B-2-2-①, ②, ③, ④, ⑧]
9月11日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教 (歯内療法学)	齶蝕・歯髄炎・根尖性歯 周炎 齶蝕・歯髄炎・根尖性歯 周炎を硬組織を介した感 染症として理解する。	1. う蝕の診査法を説明できるようになる。 2. う蝕の診断ができるようになる。 3. 歯内療法に必要な診査法を説明できる ようになる。 4. 歯内疾患の診断ができるようになる。 5. 症例に応じた修復法を説明できるよう になる。
9月18日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	補綴・インプラン ト学講座 (冠橋義歯補綴学) 田邊憲昌講師	クラウンブリッジの治療 の流れ クラウンブリッジによる 治療の流れを理解する。	1. 診療室と技工室における治療の進め方を 理解できる。
9月18日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	歯周療法学分野 佐々木大輔講師	歯周療法の要点Ⅱ 歯周領域に求められる演 習問題を理解し、歯周外 科を中心に要点を理解す る。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明 できる。 2. 歯周領域の演習問題の理解ができる。 3. 歯周領域の要点を修得できる。 [E-3-2)-③、E-3-2)-④、E-3-3)-(3)-①、 E-3-3)-(3)-②、E-3-3)-(3)-③、 E-3-3)-(3)-④、E-3-3)-(3)-⑤]
9月18日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育 (在宅介護医療 ビデオ講義18) 「地域における在宅高齢 者の栄養食事指導の現状 とポイント」前田 佳予 子 84分	1. 在宅高齢者に対する栄養指導の内容を理 解する。 [E-5-1-⑩]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月25日(火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 藤村 朗教授	唾液腺 唾液腺の種類と支配神経 を理解する。	1. 唾液腺の構造および分類を説明できる。 2. 唾液腺の神経支配を、神経の走行と障害を 関連づけて説明できる。 [E-2-2)-(6)]
9月25日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科放射線学分野 泉澤 充講師	放射線防護と放射線治 療 適切な放射線検査・治療 を行うために、放射線防 護に対する知識を習得 する。	1. 放射線の確率的影響と確定的影響を説明 できる。 2. 放射線防護における正当化と最適化につ いて、具体的な方略を列記できる。 3. 口腔癌に対する放射線治療装置の特徴と 適応を説明できる。
9月25日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義19) 「呼吸理学療法 -基礎 編-」宮川 哲夫 53分	1. 呼吸理学療法の手段を学び、高齢者の呼吸 管理を理解する。 [E-6-(1),(2)]
10月16日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	病態解析学分野 三上俊成准教授	歯科治療に伴う治癒の病 理とインプラントの病理 歯科治療に伴う象牙質・ 歯髄複合体、歯周組織へ の影響、抜歯創の治癒や、 インプラント処置後の周 囲組織の変化について理 解する	1. 象牙質・歯髄複合体への処置に伴う変化に ついて説明できる。 2. 歯髄処置・根管治療・歯周治療に伴う組織 変化について説明できる。 3. 抜歯創の治癒について説明できる。 4. インプラントの病理および歯の移植・再植 について説明できる。 [E-3-3)-(1),(2),(3), E-3-4]]
10月16日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科麻酔学分野 四戸 豊講師	全身麻酔法 全身麻酔法と全身麻酔時 に使用する器具を理解す る。	1. 全身麻酔の理論、概念、機序を説明できる。 2. 全身麻酔に使用する装置、器具、回路を説 明できる。
10月23日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	骨リモデリング 骨リモデリングのメカニ ズムについて理解する。	1. 骨吸収因子による骨芽細胞を介した破骨 細胞の分化と成熟について説明できる。 2. 破骨細胞による骨吸収を分子レベルで説 明できる。 3. 骨形成や骨吸収と体内カルシウム動態と の関連性について理解する。 [E-2-2)-(5),(6)]
10月23日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	病態解析学分野 佐藤泰生講師	口腔粘膜疾患と口腔病変 を生じる全身性疾患・症 候群 口腔粘膜に病変を生じる 疾患と、口腔領域に徴候 をみる全身性疾患や症候 群について理解する。	1. 口腔粘膜疾患の種類や病理学的変化を説 明できる。 2. 口腔病変を生じるウイルス・細菌性疾患に ついて説明できる。 3. 口腔病変を生じる内分泌・代謝障害・栄養 障害・血液疾患について説明できる。 4. 口腔領域に徴候をみる症候群について説 明できる。 [E-2-4)-(4), E-2-4)-(10)]
10月23日 (火) 3限(11:00 ～12:00)	口腔外科学分野 山田浩之教授	口腔癌 口腔領域に発生する上皮 性の悪性腫瘍に関する知 識を習得する。	1. 口腔癌の臨床症状を説明する。 2. 口腔癌の各種画像所見を説明する。 3. 口腔癌の治療、予後について説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月30日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科矯正学分野 山田裕之助教	抜歯と固定 矯正治療における抜歯と 固定の必要性を理解す る。	1. 矯正歯科治療における抜歯の適応を説明 できる。 2. 適切な抜歯部位と抜歯数について説明で きる。 3. 連続抜去法について説明できる。 4. 抜歯の判定基準について説明できる。 [E-4-1)-③]
10月30日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 森川和政教授 (小児歯科学)	咬合誘導(保険処置) 保険の適応と処置法につ いて理解する。	1. 年齢や欠損状態に応じた保険装置の選択 ができる。 [E-4-2)-⑨]
11月6日(火) 1限(8:40～ 9:40)	分子微生物学分野 下山 佑講師	微生物学弱点対策 微生物学・免疫学領域全 般について知識を強化 し、理解を深める。	1. 前期試験, CBT 等の結果から見えてきた微 生物学・免疫学領域に関する理解が不十分 な領域を説明できる。 [A-6-1)-⑥, A-6-3)-②, ③, C-4-1)-①～⑤, C-4-2)-①～⑧, E-1-5)-⑥～⑧, E-2-4)-(10)-③, E-3-2)-③, ④]
11月6日(火) 6限(15:20～ 16:20)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 (障害者歯科学) 久慈昭慶教授	障害者歯科学 臨床実習で得た知識を確 実にする。	1. 社会的問題, 嚥下, 症候群など試験に必要な 項目を説明できる。
11月13日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	唾液 唾液の分泌機構および生 理的特性を理解する。	1. 大唾液腺の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液の生成および分泌機序を説明できる。 3. 唾液腺の神経支配について説明できる。 4. 唾液の機能について説明できる。 [E-2-2)-⑤, ⑥]
11月13日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 岸 光男教授	地域保健 感染症・非感染症の予防 における地域保健活動の 役割を理解する。	1. 疾病構造の変化を概説できる。 2. 感染症と非感染症の予防に違いを概説で きる。 3. 健康日本21の目標を列挙できる。
11月13日 (火) 3限(11:00 ～12:00)	予防歯科学分野 岸 光男教授	社会保障 医療保障制度を中心とし た社会保障制度を理解す る。	1. 社会保障の種類を列挙できる。 2. 医療保障制度を列挙できる。 3. 医療保険制度を概説できる。 4. 公費負担医療制度を列挙できる。
11月13日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 21 衛生・予防歯科学 2	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度 確認し、理解する。
11月20日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教 (保存修復学)	コンポジットレジン、接 着歯学 コンポジットレジン、歯 科における接着技法につ いて理解する。	1. コンポジットレジン修復の手順について 説明できるようになる。 2. 歯科における接着技法について説明でき るようになる。 3. 症例に応じた修復法、接着技法を説明でき るようになる。
11月20日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 22 衛生・予防歯科学 3	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理 解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月27日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学講座 (有床義歯補綴) 野村太郎講師	部分床義歯補綴学 部分床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する。	1. 部分床義歯の各操作の目的を説明できる。 2. 部分床義歯の製作術式を説明できる。
11月27日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 23 衛生・予防歯科学 4	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理解する。
12月4日(火) 1限(8:40～ 9:40)	予防歯科学分野 阿部晶子准教授	周術期における口腔管理 周術期における口腔管理の意義を理解する。	1. 周術期における口腔管理の必要性を説明できる。 2. 周術期における口腔管理の流れを概説できる。
12月4日(火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 佐藤俊郎助教	齲蝕の発生と予防 齲蝕の発生と予防の機序を理解する。	1. 齲蝕の発生機序を説明できる。 2. 齲蝕予防の方法を概説できる。 3. フッ化物による齲蝕予防機序を説明できる。
12月4日(火) 3限(11:00 ～12:00)	補綴・インプラント学講座 (口腔インプラント学) 近藤尚知教授	口腔インプラント学 2 口腔インプラント治療に必要な知識を整理して手術方法を理解する。	1. インプラントの基本構造を説明できる。 2. インプラントの外科処置に必要な器具を説明できる。 3. インプラントの外科処置の各操作の目的と手技を説明できる。
12月4日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 24 衛生・予防歯科学 5	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理解する。
12月11日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 藤村 朗教授	印象採得に関わる解剖学 歯科補綴に関連する臨床解剖学を理解する。	1. 印象採得に関連する解剖学的構造を説明できる。 2. 口腔を構成する筋肉の付着部をすべて説明できる。 [E-2-1)-③]
12月11日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 25 衛生・予防歯科学 6	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理解する。
12月18日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	医療工学講座 武本真治教授	義歯用材料 歯科臨床に応用する義歯用材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における義歯用材料の選択基準を説明できる。 2. 義歯用材料の種類を説明できる。 3. 義歯用材料の成分および性質を説明できる。 4. 義歯用材料の取り扱い上の注意点を説明できる。 [D-1-②, D-2-②]
12月18日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	法歯学・災害口腔医学分野 熊谷章子准教授	災害時歯科医療活動	1. 災害時における歯科医師の社会的役割を説明できる。 2. 災害時の歯科保健活動を説明できる。 3. 災害時の歯科的個人識別を説明できる。
1月15日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学分野 玉田泰嗣助教	摂食嚥下リハビリテーションの全体像	1. 摂食嚥下リハビリテーションの流れを説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月15日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 27 口腔外科学 2	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月22日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	発生生物・再生医学分野 原田英光教授 大津圭史准教授	結合組織の多様な役割～ その構造と免疫まで 結合組織の基本的な構造・機能とその破綻によって引き起こされる疾患との関連を理解できるようになる。	1. 結合組織の基本的構造が説明できる。 2. 結合組織の細胞成分と細胞外マトリクスについて説明できる。 3. 結合組織に異常を来す疾患を列挙して、その病因を説明できる。 [C-2-4)-③, C-3-4)-(2)-②, E-2-4)-(1)-①, E-2-4)-(10)-⑤]
1月22日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 28 口腔外科学 3	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月22日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 29 口腔外科学 4	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月29日(火) 1限 (8:40～ 9:40)	関連医学分野 千葉俊美教授	内科学Ⅱ 腎・精神疾患 代表的な腎・精神疾患について理解する。	1. 代表的な腎・精神疾患について理解し説明できる。
1月29日(火) 2限 (9:50～ 10:50)	口腔外科学分野 宮本郁也准教授	唾液腺疾患 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明する。 2. 唾液腺の閉塞性疾患を説明する。 3. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明する。
1月29日(火) 3限 (11:00～ 12:00)	口腔外科学分野 山田浩之教授	口腔粘膜疾患 水疱性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 2. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患の治療法について説明する
1月29日(火) 6限 (15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 30 口腔外科学 5	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月29日(火) 7限 (16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義 31 口腔外科学 6	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。

H30 年度 5 年 DESS 最終演習試験設定

試験時間(約 120 分):午前 9 時 50 分～午前 12 時(30 分経過後から退出可)

実施日	出題数	必修一般(基礎・臨床)				臨床実地	
5 月 8 日(火)	174	解剖 (49)	組織 (38)	生理 (50)	生化 (37)		
5 月 22 日(火)	143	病理 I (30)	病理 II (36)	細菌 I (38)	細菌 II (37)		
5 月 29 日(火)	153	薬理 I (33)	薬理 II (26)	理工 I (48)	理工 II (46)		
6 月 12 日(火)	200	衛生 I (50)	衛生 II (50)	衛生 III (50)	衛生 IV (50)		
6 月 26 日(火)	175	修復 I (25)	修復 II (31)	歯内 I (29)	歯内 II (22)	歯周 I (37)	歯周 II (31)
7 月 10 日(火)	160	有床 I (44)	有床 II (43)	クラブ I (38)	クラブ II (35)		
9 月 11 日(火)	145	麻酔 I (36)	麻酔 II (24)	高齢者 I (36)	高齢者 II (49)		
9 月 18 日(火)	169	放射線 I (50)	放射線 II (50)	衛生 V (50)	衛生 VI (19)		
9 月 25 日(火)	207	口外 I (39)	口外 II (40)	口外 III (40)	口外 IV (38)	口外 V (50)	
10 月 16 日(火)	102	小児 I (36)	小児 II (39)	小児 III (27)			
10 月 30 日(火)	131	矯正 I (48)	矯正 II (39)	矯正 III (44)			
11 月 6 日(火)	155	修復 I (35)	修復 II (21)	歯内 (47)	歯周 I (30)	歯周 II (22)	
11 月 20 日(火)	157	有床 I (44)	有床 II (46)	クラブ他 I (34)	クラブ他 II (33)		
11 月 27 日(火)	132	口外 I (49)	口外 II (43)	口外 III (40)			
12 月 11 日(火)	123	小児 I (47)	小児 II (32)	小児 III (32)	高齢者 (12)		
12 月 18 日(火)	117	矯正 I (41)	矯正 II (31)	放射線 (36)	麻酔 (28)		
1 月 15 日(火)		予備日あるいは 過去弱点のみ抽出して演習					
1 月 22 日(火)		予備日あるいは 過去弱点のみ抽出して演習					

成績評価方法

- *年間を通して行われる講義に3分の2以上出席すること、及び、原則としてDESS演習に前期・後期それぞれ3分の2以上出席することを定期試験の受験条件とする。
- *4月のDESS臨床実地演習（空き時間を利用した演習）の成績が80%未満の場合、定期試験（前期）の受験を認めない。
- *5月～7月のDESS最終演習（講義室での演習）の成績が80%未満の場合、定期試験（前期）の受験を認めない。
- *9月以降のDESS最終演習（講義室での演習）の成績が80%未満の場合、定期試験（後期）の受験を認めない。
- *定期試験は各科目を統合した総合試験とする。
- *前後期試験（前期50%・後期50%）の合計が65%以上を合格とする。
- *実施要項については別に示す。
- *定期試験は各科目を統合した総合試験とする。
- *前後期試験（前期50%・後期50%）の合計が65%以上を合格とする。
- *実施要項については別に示す。